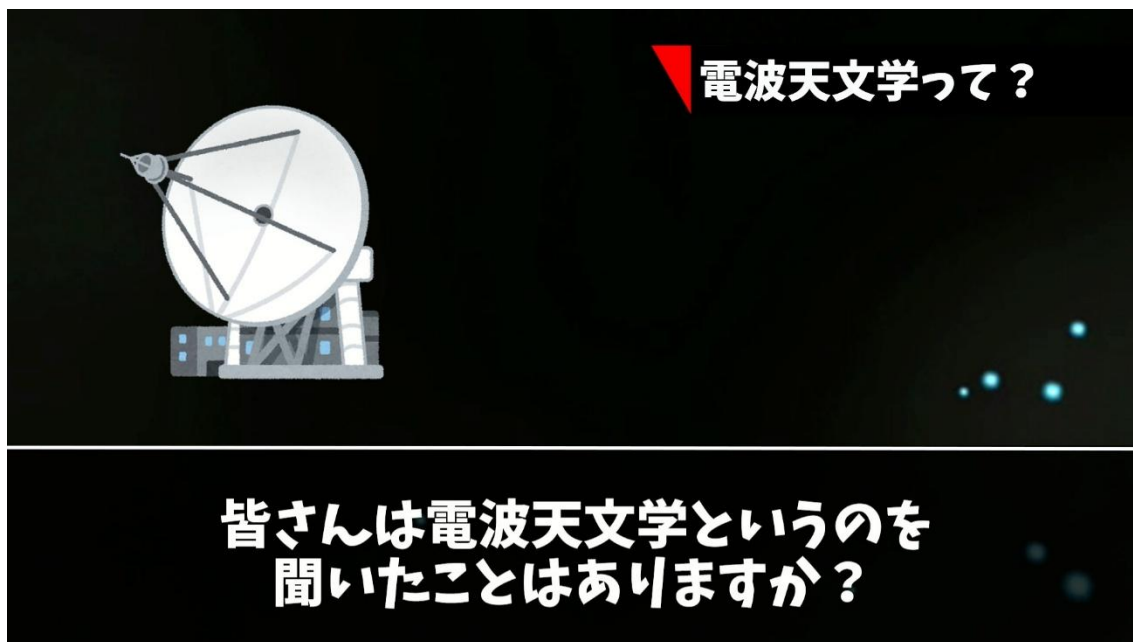


電波天文学って？

製作：東京都立科学技術高等学校

企画・製作・脚本：森悠斗／ナレーター：森悠斗／研究者：森悠斗、芹澤聡一郎、丸田凌志郎、柴田春音／アドバイザー：金子雅彦／映像提供可視化：武田隆顕／シミュレーション：馬場淳一、斎藤貴之 国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト



われわれが日々観測している天の川銀河の中性水素21cm線を観測してダークマターの質量を求めるとい研究の概要を紹介します。 動画: 3分27秒

製作意図

私は高校で仲間と自作電波望遠鏡を用いて銀河系の回転速度からダークマターの質量を求める研究を行っています。銀河の回転速度は銀河の成り立ちに関わる重要な問題で有ることを知った日の夜は眠れない程興奮しました。多くの人に銀河の回転速度とダークマターの関係を知っていただき、私たちの感動や興奮を共感して欲しいと考えて制作しました。

シノプシス

“電波天文学”という言葉を知っていてもその観測やデータ分析について知らない方も多くいます。銀河の回転速度を測定することによって、直接観測できない未知の質量(ダークマター)があると考えられています。この映像では電波天文学に詳しくない方にも興味を持ってもらえるように、私たちが行っている観測や分析についてまとめました。

受賞に際して

電波天文学をいろいろな方に知ってほしいと思いこの映像を制作しましたが、けっして簡単な道のりではありませんでした。「自分の研究を分かりやすく動画にするにはどうすればいいか？どうしたら電波天文学やダークマターのことを知らない人に興味をもってもらえるか？」と何度も悩みました。長時間の動画にする予定でしたが、それでは「見ている方があきてしまうかもしれない」と考え、3分程度の動画にすることにしました。そのため電波天文学の情報を最小限にしぼり、表面を撫でた程度の作品となってしまったかもしれません。ですがこの映像を視たどなたかが電波天文学やダークマターに興味を持っていただけたら嬉しく思います。このような賞を頂戴して、恐縮しつつとてもうれしく感じます。最後に制作にかかわった方々、背景の動画を提供していただいた国立天文台の方々及び視聴者の皆様に心より御礼申し上げます。(東京都立科学技術高等学校 森悠斗)